

私立大学情報教育協会  
平成30年度第1回(被服学・美術デザイン)グループ分野連携合同会議議事概要  
被服学教育FD/ICT活用研究委員会  
美術デザイングループ運営委員会

I. 日時 : 平成30年8月31日(金) 13:00-15:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局  
東京都千代田区九段北4-1-14 九段北 TLビル4階 (TEL:03-3261-2798)

III. 出席者: 被服学FD/ICT活用研究委員会 阿部委員長、小原委員、石原委員  
CCC美術デザイングループ運営委員会 有馬委員、井澤委員(ネット参加)  
事務局 井端事務局長、森下、中村

IV. 昨年度の報告と今年度の検討

1. 事務局より昨年度の事業について事業報告書をもとに以下のように報告された。

平成29年度は、30分野を6グループに再編し教育改善の研究を行った。対話集会では、学力の3要素を高めるためにICTを活用した教育・学修方法の工夫・改善、授業科目の相互改善を促進するための仕組みとICTの活用、ICTによる外部評価モデルの必要性と仕組みを中心に意見交換した。

その結果、①個別の授業科目でICTを活用したアクティブ・ラーニングは進んでいることを確認したが、知識の活用や創造を目指す分野連携によるICTを活用した授業まで議論が進まなかった。

②ICTを用いて授業内容を可視化し、教員相互で理解し合う必要性が確認され、教学マネジメントの課題が明らかになった。③学修成果を質保証する手段としての外部評価モデルについては、文系・理系・医療系では総論賛成の意見が多かった一方、被服・美術デザイン分野では創造性の評価に適さないとの意見も出された。

2. 平成30年度の対話集会について

昨年度の振り返りを踏まえて本年度は、一つは、アクティブ・ラーニング(AL)の質向上に向けたICTの活用を中心に、思考力・判断力を高める課題探求型教育の研究を行うことにしている。二つは、ネット上で学内および地域社会・企業などによる外部からの意見を組み入れたオープンな教育改善の仕組みについて実現の可能性を探求する。三つは、学修成果の質保証に向けたビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策について認識の共有を行う。四つは、多面的に考え、本質を見抜く能力を目指す授業モデルを研究するため、ICTを活用した分野横断的な授業モデルの研究成果を共有する中で、授業のイノベーションを実現していく上での課題、戦略について意見交換する。

3. 対話集会の進め方

① 「話題提供」(1時間30分)と「意見交流」(2時間)の3時間30分を計画している。

② 「話題提供」は以下のような紹介が考えられる。件数は4件以内を計画している。

なお、質疑は話題提供後にまとめて15分程度設けるが、不足する場合は「意見交流」の最初に15分程度設ける。

- \* 知識・技能の活用力・応用力を促進するICT活用授業
- \* 問題発見・解決力を高めるICT活用授業
- \* ICTを活用した事前・事後学修、反転授業、地域連携授業
- \* モバイル・SNSを活用した双方向授業
- \* eシラバス、eポートフォリオなどを活用した授業の可視化、学修成果の可視化
- \* 授業改善をオープンに議論するポータルサイトの活用など

- ③ 「意見交流」のテーマは大枠として、以下の中から3件程度を考えてはどうか。
- ※ 知識・技能の活用・応用を促進するICT活用授業の取り組みと課題
  - ※ 問題発見・解決力を高める課題探求型ICT活用授業の取り組みと課題
  - ※ 双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業におけるICT活用の取り組みと課題
  - ※ ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題
  - ※ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策
  - ※ 知識の創造を目指す分野横断型フォーラム授業の必要性和導入の課題

#### 4. 今後の合同会議の検討スケジュール

##### (1) 第1回合同会議(8月)

- ① 本年度の対話集会の進め方について(事務局より説明)
- ② 話題提供候補の検討  
(ICTを活用した分野別の実践事例又は教育改善提案の候補を選定)
- ③ 意見交流のテーマ検討
- ④ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
- ⑤ 対話集会の開催日時・場所の検討
- ⑥ 参加呼びかけの強化

##### (2) 第2回合同会議(10月予定)

- ① 開催要項の確定
  - ・ 話題提供者の確定
  - ・ 意見交流のテーマ確定
  - ・ 開催日時・場所の決定
  - ・ 事前アンケートの内容決定
- ② ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
  - ・ 各グループでの検討状況の共有
  - ・ 各分野における課題・対応策の整理
- ③ 運営シナリオの検討と役割分担
  - ※ 委員主体の運営シナリオを全員で作成

##### (3) 対話集会(12月予定)

- ① アンケート結果を踏まえた担当者との打ち合わせによる進め方の確認
  - ・ 時間配分と運営シナリオにおける意見交流の着地目標を再確認
- ② 対話集会の参加についてアンケート回収

以上の説明の後、各分野ごとに「話題提供候補」ほか対話集会の進め方について検討を行った。

#### 5. 話題提供候補の検討

被服学および美術デザイン分野から話題提供候補等について以下の提案報告がされた。

##### (1) 被服学分野

「海外のデータ共有サービス(instructables)を利用して学生作品を公開する取り組み」について紹介された。

著作権等についての課題に係わる意見が出された。

##### (2) 美術デザイングループ

「学生作品を画像化しデータベースする取り組みが進み、1年から4年までの学生作品が学内のデータベースに収納され、学生および教員も見られるようになったこと、および関連したポートフォリオシステムについて」報告された。

他の委員から、指導教員の評価に外部評価が加わることについての評価基準等の課題が指摘された。

(小中学生が読むファッション誌の)「ファッションショー「プチコレ」に大学として取り組んで服を造る取り組み」が紹介された。

- ・学生にデザイン画等を描かせネットに上げて投票（読者投票）を実施している

話題提供については全体で4本を検討していただき、分野ごとに話題提供シート書式にて提出してもらうこととした。

また、被服・美術分野は他の専門分野と背景が異なることから、今年度の対話集会では会場参加者と賛否の意見を交わすような場を検討することが提案され、次回、参加募集時に申込者に求めるアンケート内容を検討することとなった。

#### VI. 対話集会の開催日時、場所についてほか

2分野の委員に諮った結果、

- ・対話集会は12月16日(日)13時30分～17時（委員事前打合せは12時）  
会場については大妻女子大学(千代田キャンパス)を予定することとなった。
- ・次回(第2回合同会議)は10月7日(日)10時～12時 私立大学情報教育協会事務局に決定した。